

# 自然史博物館・水族館動物園の調査研究

## 1. 事例の紹介

- 1) イルカ人工尾びれプロジェクト 沖縄美ら海水族館（ブリジストンとの共同研究）
- 2) ストランディング個体を活用する海棲哺乳類の研究 国立科学博物館（全国の大学や博物館が支援）
- 3) セミのぬけがら調べ 平塚市博物館が先駆けて実施

## 2. 博物館の調査研究

### 1) 資料の研究

#### 収集調査

学術探検

ファウナ fauna とフロラ flora のインベントリー inventory

記載（＝新種記載、学名を与えること）

#### コレクションの研究

所蔵調査

分類・形態・解剖

科学史

### 2) 飼育・繁殖・栽培の技術

#### 飼育繁殖技術の確立

日本動物園水族館協会「繁殖賞」

#### 稀少種の増殖

#### 傷病鳥獣の保護

#### 環境エンリッチメント enrichment

### 3) 市民調査

#### アマチュア研究者や子どもの参加・参画

平塚市博物館「みんなでしらべよう」

どんな調査が向いているか

副次的にわかることがあるか

### 4) 保存と修復の技術

#### 収蔵庫の物理環境や有害生物防除

絵画や文化財の修復→いずれも専門業者や専門家による技術開発や継承が主

### 5) 展示と教育方法

展示方法の開発 映像音響機器の導入、表現手法の実験→展示業者による独自開発も多い

#### 教育効果の測定

### 6) 文部科学省科学研究費補助金「博物館学」の事例

大学の研究が含まれる

博物館の研究の特徴とは

### 3. 博物館研究の独自性

#### 1) 研究の構成

博物館あがての研究 総合研究、  
共同研究 共同研究、  
学芸員の研究 専門研究、個別研究

#### 2) 研究成果の発表方法

論文

学会誌

自館の紀要／研究報告

書籍

商業出版

自館の独自出版物、図録

教育活動

講座

講演会

サークル活動

展示

常設展への反映

特別展の開催→図録の出版

シンポジウム

研究者の招待

世の中への宣伝

インターネット

ウェブページの掲載

データベース／アーカイブ

#### 3) 他の研究機関との違い

求められる成果

企業の研究機関との違い

大学研究との違い

水産研究所や農業試験場との違い

国立科学博物館魚類研究者の例

#### 4) 現在の日本における課題

「研究機関」の制限

「研究者」の位置付けのない学芸員

サービスエリア概念による自主規制

千葉県立中央博物館の例